

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
たかおいけ 高雄池		大分県国東市国東町大字綱井	
貯 水 量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
70千m ³	56.0ha	16.2m	118.0 m

ため池の紹介文

高雄池は、平成25年に世界農業遺産に認定された「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」の中に位置する、ため池群のひとつでその最上流に位置しています。

ため池群の歴史は11世紀の開田の時期から始まったものと推測され、その多くが人口増加に伴い開田が進められたことから、複数のため池を水路でつないだ複数連携式のため池群となっており、互いの水需要を平準化しつつ、貴重な水を効率よく公平に分配し、水不足解消を図っています。

本地域では、6つのため池を連携させた用水供給システムが江戸時代から今日まで運用されており、最上流の高雄池は、水稻の生育の後期（中干し後）用として貯水され、それまでの期間は、中流域の3つと下流域の2つのため池で運用し、中流域から下流域のため池に補水し水田に給水します。

世界農業遺産に認定されたことを契機に、地域の学校教育に取り入れられるなど、次世代を担う子供たちにもため池の歴史や重要性などを伝えています。

ため池の写真

